

2023年度 環境経営レポート

(対象期間 2023年7月～2024年6月)



発行日 : 2024年 10 月 7 日



和 田 株 式 会 社

(兵庫県姫路市別所町北宿946番地の1)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0006586

I.ごあいさつ

和田株式会社は平成7年設立以来、管工事業を中心に地域社会の発展に尽力してまいりました。多くのお客様に支えていただき、今もなお堅実に経営を営んでおります。全従業員が一丸となり、地球環境保全の重要性を認識すると共に環境負荷の低減に努め、人と環境が共存する社会を目指してこれからも取り組んでまいります。

環 境 経 営 方 針

当社は「努力還元」の社是のもと、社員一人ひとりが一生懸命努力し、お客様の身になって良い仕事をするという方針の中で、管工事・空調工事・水道施設工事等を通じて環境活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ定期的に経営における課題とチャンス进行明確化し、環境への取組と環境負荷の削減に取り組むことによって、地域の発展と繁栄に貢献します。

(1)環境経営の継続的改善を誓約します。

(2)環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。

(3)当社の環境負荷を削減するために次の活動に取り組めます。

① 二酸化炭素排出量の削減 [電力使用量の削減、自動車燃料使用量の削減]

② 廃棄物排出量の適正管理 [廃棄物の分別の徹底と削減]

③ 水使用量の適正管理 [上水使用量の削減]

④ 紙資源の節約 [コピー用紙使用量の削減]

⑤ 手直し工事件数の削減 [環境負荷の少ない工法の採用]

(4)すべての建設現場において環境への取組をチェックし、環境負荷を削減する。

(5)人材不足を解消するように努力していきます。

(6)技術・技能の伝承の推進に努力していきます。

3. この環境経営方針は全従業員に周知すると共に、環境経営レポートを公開します。

制 定 日 2010年 5月 31日

改定日(4) 2023年 7月 1日

和 田 株 式 会 社

代表取締役社長 和 田 直 也

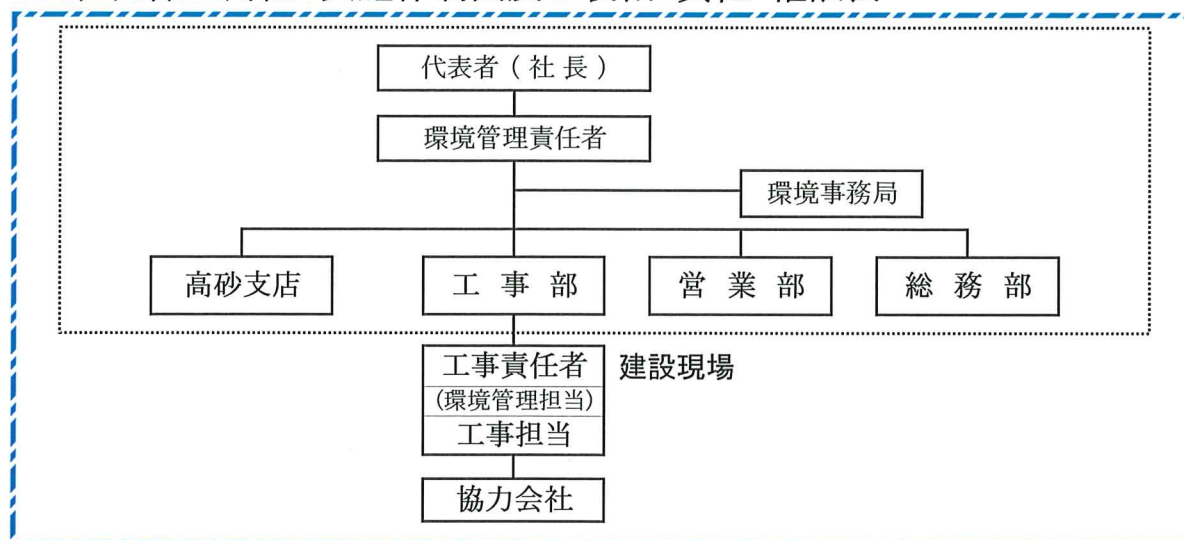
Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名 称 和 田 株式会社
代表者名 代表取締役社長 和 田 直 也
- (2) 事業所・所在地 本 社 : 〒671-0223 兵庫県姫路市別所町北宿946番地の1
高砂支店 : 〒676-0078 兵庫県高砂市伊保3丁目4番24号
- (3) 環境管理責任者氏名 責任者 : 代表取締役社長 和田 直也
及び担当者連絡先 担当者 : 総務部 岩本 泰子
TEL:079-252-1849 FAX:079-253-6160
E-mail : wadakabu@minos.ocn.ne.jp
- (4) 事業内容 管工事、空調工事、水道施設工事
許可番号 兵庫県 第458277号 許可年月日 令和2年9月11日
許可期限 令和7年9月10日
- (5) 事業規模 設 立 1995年7月3日
資本金 5,000万円
売上高 22,000万円 (2023年度実績)
各事業所の規模
- | | 本 社 | 高砂支店 | 資材倉庫 | 合 計 |
|------------------------|-----|------|------|-----|
| 従業員(人) | 11 | 1 | 0 | 12 |
| 延べ床面積(m ²) | 240 | 50 | | 290 |
- (6) 事業年度 7月～翌年6月

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

- (登録組織名) : 和田株式会社
(対象事業所) : 本社、高砂支店
(活 動) : 管工事、空調工事、水道施設工事

IV.和田株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 - 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 - 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応含む） - 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部 門 長	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の運用管理 - 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	- 建設現場における環境経営システムの実施 - 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 - 建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 - 建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全 従 業 員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度 基準年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	44,219	31,696	
電力使用量	kWh	18,178	13,904	
ガソリン使用量	L	4,217	3,271	
軽油使用量(工作車)	L	2,714	2,857	
軽油使用量(ダンプ)	L	5,121	3,262	
軽油使用量(重機)	L	2,567	1,549	
廃棄物排出量	kg			
一般廃棄物	kg	900	900	
産業廃棄物	kg	101,730	52,700	
水道水使用量	m ³	215	201	

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2020年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	44,219	43,777	43,335	42,892	42,450
電力使用量削減	kWh	18,178	17,996	17,814	17,633	17,451
排出係数 0.311	kg-CO ₂ 対基準	7,598	5,597	5,540	5,484	5,427
ガソリン 使用量削減	L	4,217	4,175	4,133	4,090	4,048
	kg-CO ₂ 対基準	9,783	9,686	9,588	9,490	9,392
軽油 使用量削減 (工作車)	L	2,714	2,687	2,660	2,633	2,605
	kg-CO ₂ 対基準	7,002	6,932	6,862	6,792	6,722
軽油 使用量削減 (ダンプ)	L	5,121	5,070	5,019	4,967	4,916
	kg-CO ₂ 対基準	13,212	13,080	12,948	12,816	12,684
軽油 使用量削減 (重機)	L	2,567	2,541	2,516	2,490	2,464
	kg-CO ₂ 対基準	6,623	6,557	6,490	6,424	6,358
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 適正管理	—	900	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
産業廃棄物 適正管理	—	101,730	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
建設リサイクル率 維持管理	%	100	100	100	100	100
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	215	213	211	209	206
IV. コピー用紙 使用量の削減	冊 (A4換算)	84	83	82	81	80
V. 手直し工事の 削減	件数	0	0	0	0	0
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理

注) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2021年度実績値の調整後係数 0.311kg-CO₂/kWh を使用。

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		試行運用期間における実績				
		2020年7月 ～21年6月	(2023年7月～2024年6月)			
			基準値	目標	実績	達成度 評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	44,219	43,777	31,696	138%	○
電力使用量削減 排出係数 0.311	kWh kg-CO ₂ 対基準	18,178 7,598	17,996 5,597	13,904 4,324	129%	○
ガソリン 使用量削減	L 燃費 kg-CO ₂ 対基準	4,217 11.37 9,783	4,175 11.48 9,686	3,271 15.08 7,589	128%	○
軽油 使用量削減 (工作車)	L 燃費 kg-CO ₂ 対基準	2,714 8.46 7,002	2,687 8.54 6,932	2,857 8.38 7,371	94%	△
軽油 使用量削減 (ダンプ)	L 燃費 kg-CO ₂ 対基準	5,121 5.72 13,212	5,070 5.78 13,080	3,262 5.72 8,416	155%	○
軽油 使用量削減 (重機)	L kg-CO ₂ 対基準	2,567 6,623	2,541 6,557	1,549 3,996	164%	○
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 適正管理	kg 対基準	900	適正管理	900		○
産業廃棄物 適正管理	— 排出量kg	101,730	適正管理	52,700		○
建設リサイクル率 維持管理	% 対基準	100	100	100	100%	○
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	215.0	213	201	106%	○
IV. コピー用紙 使用量の削減	冊 (A4換算)	84	83	70	119%	○
V. 手直し工事の 削減	件数	0	0	0	100%	○
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	8	適正管理	26	—	○

←戸建住宅のみ

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、
達成度＝実績÷目標×100(%)

注2) 評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成(85%～100%未満)、×：未達成(85%未満)

注3) 2023年度における建設リサイクル率の実績＝2023年度の再資源化量(52,700kg)及び産業廃棄物発生量(52,700kg)

注4) 環境に配慮した施工とは、騒音、振動、粉じん、道路の汚れ、水の汚れなどを防止し、廃棄物適正処理・3Rに努め、付近住民の生活に配慮した工事を言う。

Ⅶ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)	○	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・ 空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	◎	良い結果が出てるので、引き続き持続する。
・ 空調機のフィルターの清掃	○	全てのエアコンフィルターの清掃を実施する。
・ 不用照明の消灯	○	照明の消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
ガソリン使用量の削減・燃費向上 (目標達成)		
・ アイドリングストップ	○	常にエコドライブを意識し実行する。
・ 急加速・急停車の抑制	○	社員全員が常に安全運転に注意している。
・ 効率的な移動	○	無駄を省いて計画性を考えながらの行動を徹底する。
軽油使用量の削減・燃費向上 (工作車はやや目標未達成) (使用量は目標達成)		
・ アイドリングストップ	○	常にエコドライブを意識し実行する。
・ 車体の軽量化	△	必要な物を最低限にして常に整理整頓を意識する事。
・ 急加速・急停車の抑制	○	社員全員が常に安全運転に注意している。
・ 効率的な移動・作業(重機)	○	無駄を省いて計画性を考えながらの行動を徹底する。
水使用量の適正管理 (目標達成)		
・ 節水意識の浸透	○	しっかりと出来ているので引き続き削減に取り組む。
・ 洗浄の際、洗剤を適正使用する	○	しっかりと出来ているので引き続き削減に取り組む。
一般廃棄物の適正管理 (目標達成)		
・ ミスコピーの削減	○	しっかりと出来ているので引き続き取り組む。
・ 分別によるリサイクル推進	○	しっかりと出来ているので引き続き取り組む。
産業廃棄物の適正管理 (目標達成)		
・ 分別対象廃棄物を決定する	○	しっかりと出来ているので引き続き取り組む。
・ 区分ごとに分別表示をする	○	しっかりと出来ているので引き続き取り組む。
コピー用紙使用量の削減 (目標達成)		
・ コピー用紙の両面刷り・裏面利用	◎	しっかりと出来ているので引き続き削減に取り組む。
・ コピー対象物・枚数の事前確認	◎	しっかりと出来ているので引き続き削減に取り組む。
手直し工事の削減 (目標達成)		
・ 手直し工事をなくす。	○	手直し工事0件を継続する。
環境負荷の低減 (目標達成)		
・ 環境負荷チェックリストの活用による低減	○	今後も環境負荷の低減を配慮した工事の推進を行っていく。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・ 騒音・振動・粉じん抑制	○	今後も環境に配慮した施工の推進を行っていく。

VIII. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反・訴訟等の有無

(1) 主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

主要な適用される法規制等	遵守すべき要求事項	遵守評価 (令和6年6月10日)
廃棄物処理法	・一般廃棄物の収集運搬業者の許可の確認 ・産廃収集運搬、処理業者の許可の確認、契約 ・マニフェストの交付と管理(5年間)及び交付状況の報告	遵 守
建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化 ・特定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存	遵 守
家電リサイクル法	・リサイクルおよびリユースを確実にを行う業者への処理委託	遵 守
フロン排出抑制法	・廃棄する際にフロン類回収業者へ引き渡すと共に、使用時には簡易定期点検及び定期点検を実施しその記録を残すと共に故障時には、その点検記録を業者に提示する。	遵 守
騒音規制法	・特定建設作業の届出、地域別騒音基準の遵守	遵 守
振動規制法	・特定建設作業の届出、地域別振動基準の遵守	遵 守
下水道法	・公共下水道設置・変更届出	遵 守
自動車NO _x ・PM法	・窒素酸化物(NO _x)、粒子状物質(PM)対策	遵 守

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。環境関連法規の遵守状況については、2024年6月10日に確認しその結果問題はありませんでした。

尚 関係当局からの違反等の指摘も過去3年間ありません。

IX. 代表者による全体評価と見直し結果と指示内容

エコアクション21の活動も社員全員に浸透し環境負荷項目の二酸化炭素排出量は順調に削減できてます。

特に電力使用量については、空調機を新しくした事によって予想以上の効果が出ました。

ガソリン使用の燃費アップに関しても、新車の増加によって昨年より良い結果になりました。

軽油使用の燃費アップに関しては工作車・ダンプが古いという事もあり効果が出てないのですが、少しでも向上するように、今後の課題として取組みに励んでいきたいと思います。

見直し項目	変更の必要性	有 の場合の 指示事項
環境経営方針	無	——
環境経営目標・経営計画	無	——
実施体制	無	——
その他	無	——

2024年6月30日

代表取締役 和田 直也